



2010/12/1

TWS shibuya

若手音楽家支援プログラム2010

TOKYO EXPERIMENTAL FESTIVAL
— SOUND, ART & PERFORMANCE— [PART 1]

2010/12/20 月 - 12/25 土 トーキョーワンダーサイト渋谷

プログラム

現代日本の音楽家と出会う 第5回 山下洋輔の音楽「フリー・ジャズと記譜音楽の狭間で」

12/20

山下洋輔によるトーク

トーク&ピアノ・セッション：山下洋輔×一柳慧×中川賢一

山下洋輔 ピアノ・ソロ

山下洋輔 ピアノとストリング・クアルテットのための《Sudden Fiction》(2006)

出演：山下洋輔 (ピアノ、トーク)、一柳慧 (トーク、作曲家/ピアニスト)、中川賢一 (トーク、ピアニスト/
指揮者)、三瀬俊吾 (ヴァイオリン)、甲斐史子 (ヴァイオリン)、阪中美幸 (ヴィオラ)、丸山泰雄 (チェロ)

2009年度 フェスティバル参加公募企画 受賞記念公演

12/21・22・25 <最優秀賞受賞> mamoru 「etude for everyday life」

12/21 <特別賞受賞> 生頼まゆみ×大久保彩子 「～cimbalom, flute “Trance”～」

12/22 <特別賞受賞> トマツタカヒロ 「WHITE CUBE GYMNASIUM GRACEFUL SURVIVAL」

12/25 <最優秀賞受賞> アンサンブルクロス.アート 「earseyes」

プログラムはやむをえず変更となる場合がございます。予めご了承ください。



企画概要

TOKYO EXPERIMENTAL FESTIVAL は、ジャンルを問わずさまざまな表現者たちが集うサウンド・フェスティバルです。公募により選ばれた公演企画を上演するプログラムとして、2006年より毎年実施しています。今年度はこのフェスティバルを2期に分け、拡大版として開催いたします。PART 1 は12月。山下洋輔氏によるオープニングアクトに続いて、昨年のフェスティバルに参加した企画公募者から選ばれた優秀賞、特別賞を一挙に上演します。PART 2 は2011年2月。今年度の企画公募による入選者が一堂に会するほか、前年度の受賞者や、アジア、南米、ヨーロッパからの招待アーティストも参加し、全23企画を一挙に上演する予定です。また同時期に、アンサンプル・モデルン・メンバーによるアカデミーも開催予定です(詳細は後日発表いたします)。

開催概要

■公演日時	2010年12月20日(月)	19:00開演	山下洋輔の音楽
	2010年12月21日(火)	14:00開演 19:00開演	mamoru 生瀬まゆみ × 大久保彩子
2010年12月22日(水)	16:00開演	mamoru	
	19:00開演	トマツタカヒロ	
2010年12月25日(土)	13:00/14:15/15:30開演	mamoru	
	19:00開演	アンサンプル クロス・アート	
■会場	トーキョーワンダーサイト渋谷		
■入場料	各公演により異なります。公演情報をご確認ください。		
■主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト		
■申込方法	氏名、電話番号、申込人数をご記載のうえ、件名を「TOKYO EXPERIMENTAL FESTIVAL 申込み」として、希望公演を明記の上、トーキョーワンダーサイト青山 FAX: 03-5766-3742もしくはE-mail: performingart10@tokyo-ws.orgまでお申し込みください。		

会場案内

トーキョーワンダーサイト渋谷

〒150-0041 東京都渋谷区神南1-19-8

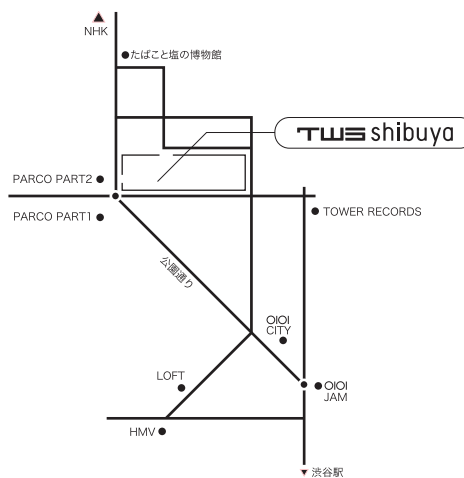
TEL: 03-3463-0603

FAX: 03-3463-0605

■交通案内: 渋谷駅(JR山手・埼京線・湘南新宿ライン/東急東横・田園都市線/

京王井の頭線/東京メトロ銀座・半蔵門・副都心線)より徒歩8分

駐車場はございませんので、お車での来館はご遠慮下さい。



現代日本の音楽家と出会う 第5回 山下洋輔の音楽「フリー・ジャズと記譜音楽の狭間で」

日本を代表する作曲家／音楽家が自らの創作について語り演奏の指導を行いながら、若い音楽家たちとひとつのコンサートを作り上げていくプログラム「現代日本の音楽家と出会う」。巨匠と若手とが直接出会い、学び、経験をつないでいく場として、これまでに4回開催してきました。間宮芳生氏、湯浅譲二氏、一柳慧氏、高橋悠治氏に続いて、第5回目は山下洋輔氏にご登場いただきます。ジャズの歴史を独自に解釈したオリジナル作品《Sudden Fiction》の上演のみならず、氏みずからが、自身の原点というセル・テイラーや即興について縦横に語ります。また、特別ゲストの一柳慧氏、中川賢一氏とのトーク&即興セッションも予定しています。

- 公演日時 2010年12月20日(月) 19:00開演
- 入場料 一般2,000円 学生1,600円(全席自由/要予約/当日精算)
- プログラム 山下洋輔によるトーク
トーク&ピアノ・セッション 山下洋輔×一柳慧×中川賢一
山下洋輔 ピアノ・ソロ
山下洋輔 ピアノとストリング・カルテットののための《Sudden Fiction》(2006)
- 出演 山下洋輔(ピアノ、トーク)、一柳慧(トーク/作曲家、ピアニスト)、中川賢一(トーク/ピアニスト、指揮者)
三瀬俊吾(ヴァイオリン)、甲斐史子(ヴァイオリン)、阪中美幸(ヴィオラ)、丸山泰雄(チェロ)

**山下洋輔 | Yosuke Yamashita**

(ジャズピアニスト)

1969年、山下洋輔トリオを結成、フリー・フォームのエネルギッシュな演奏でジャズ界に大きな衝撃を与える。国内外の一流ジャズ・アーティストはもとより、和太鼓やオーケストラなど異ジャンルとも意欲的に共演する。2000年に発表した自作協奏曲を、佐渡裕の指揮により04年にイタリア・トリノで再演。07年、セル・テイラーとデュオ・コンサート開催。08年、「ピアノ協奏曲第3番《エクスプローラー》」を発表、CD化。アルバム『トリプル・キャッツ』リリース。09年5月、一柳慧作曲「ピアノ協奏曲第4番《JAZZ》」を世界初演。7月には、歴代メンバー総出演の「山下洋輔トリオ結成40周年記念コンサート」を開く。2010年1月、恒例の東京オペラシティ・ニューイヤーでは、スタニスラフ・ブーニンを招きデュオ・コンサートを開催。99年芸術選奨文部大臣賞、03年紫綬褒章受章。国立音楽大学招聘教授、名古屋芸術大学客員教授。多数の著書を持つエッセイストとしても知られる。(2010.07)

現代日本の音楽家と出会う 第5回 山下洋輔の音楽「フリー・ジャズと記譜音楽の狭間で」

出演者プロフィール

一柳 慧 | Toshi Ichinyanagi
(作曲家、ピアニスト)

1933年神戸生まれ。作曲家、ピアニスト。10代に2度、毎日音楽コンクール（現・日本音楽コンクール）作曲部門1位となり注目を集める。1954年19歳で渡米、ニューヨークのジュリアード音楽院に学ぶ。その後ジョン・ケージらと実験的音楽活動を展開する。61年帰国し、偶然性の導入や図形楽譜を用いた作品を発表、作曲、演奏の両方で意欲的に活動。自作ならびに欧米の新しい音楽の紹介と演奏は、さまざまな分野に強い刺激を与えた。60年代から現在に至るまで、常に日本音楽界の中心として活動を続けている。作品は、オペラ、交響曲、協奏曲、室内楽作品のほか、コンピュータ音楽、雅楽や声明を中心とした伝統音楽など多岐にわたる。文化功労者（2008年）。現在、神奈川芸術文化財団芸術総監督、トーキョーワンダーサイト音楽アドバイザー。

中川 賢一 | Kenichi Nakagawa
(ピアニスト、指揮者)

桐朋学園大学でピアノと指揮を学び、卒業後、ベルギーのアントワープ音楽院ピアノ科首席修了。97年オランダのガウデアムス国際現代音楽コンクール第3

位。帰国後は、ソロ、室内楽、指揮で活躍する他、国内外の様々な音楽祭に出演。NHK-FMなどに度々出演、新曲初演多数。現代音楽アンサンブル「アンサンブル・ノマド」のピアニスト、指揮者。ダンスや朗読など他分野とのコラボレーションも活発。指揮者として、東京室内歌劇場、東京フィル、広響他と共演。その他東京フィル、札幌、水戸室内管等でピアノ演奏とトークを交えたオーケストラ曲のアナリーゼ等を展開。現在、お茶の水女子大学、桐朋学園大学非常勤講師。2001年度宮城県芸術選奨新人賞受賞。トーキョーワンダーサイト音楽アドバイザー。

三瀬 俊吾 | Shungo Mise
(ヴァイオリン)

桐朋学園大学院大学修了。第1回横浜国際音楽コンクール弦楽器一般部門第1位。同コンクールより奨学金を得、パリ・エコールノルマル音楽院へ留学。第6級教育課程、研修課程及び室内楽のディプロムを取得。ドゥヴィ・エルリ、原田幸一郎の各氏に師事し、マスタークラスや音楽院内の演奏会に多数出演。定期的に千々岩英一氏の指導も受け、パリでソロ・室内楽や新作の演奏活動も行う。2009年、「第1回室内楽-OTO」に出演し7作品の新作演奏を行う。名古屋、神戸、東京でリサイタル開催。2010年帰国。鎌倉、東京でリサイタル開催。武生国際音楽祭、カリアリ夏期国際音楽アカデミー（イタリア）、アンサンブル・モデルン・アカデミーなどに参加。mmm…メンバー。

甲斐 史子 | Fumiko Kai
(ヴァイオリン)

桐朋学園音楽大学卒業、同大学研究科修了。第3回江藤俊哉ヴァイオリンコンクール第1位入賞。現代音楽演奏コンクール（競奏V）第1位入賞（Pf大須賀かおりとのデュオ「ROSCO」として）。第12回朝日現代音楽賞受賞。2003年度青山パロックザール賞受賞。ドイツ・ダルムシュタットにて、クライニヒシュタイン賞受賞。アンサンブル・ノマドメンバーとして、第2回佐治敬三賞受賞。桐朋学園オーケストラ、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、日本フィルハーモニー管弦楽団等と共演。オランダ「ガウデアムス」、ベネズエラ・フランス「フェスティバル・アテンボ」、イギリス「ハダース・フィールド」、メキシコ「国際現代音楽祭」等、国内外の音楽祭に出演。数々の初演、録音を行っている。2008年3月一柳慧率いるアンサンブル・オリジ

ンメンバーとして、カーネギーホールにて演奏。北京中央音楽院、国家大劇場、上海音楽院など中国においても日中現代作品を中心にリサイタル公演、レクチャーを重ねている。これまでに、江藤俊哉、江藤アンジェラ、水野佐知香、室内楽を藤井一興の各氏に師事。桐朋学園大学及び短期大学嘱託演奏員。

阪中美幸 | Miyuki Sakanaka
(ヴァイオリン)

大阪府出身。京都市立芸術大学音楽学部首席卒業。音楽学部賞及び音楽協会賞受賞。02年第7回KOBEL国際学生音楽コンクール優秀賞受賞。04年ルクセンブルク国立音楽院サマーセミナーにおいてファイナルコンサートに出演。NHK・FM、名曲コンサート等に出演他、大学時より複数の弦楽アンサンブルに所属し、ヴァイオリンも始める。2005年3月、青山音楽賞受賞。また、作曲家松本日之春氏から献呈されたソナタ「八巡り目の春に」の新曲発表会、MU楽団、Next Mashroom等にも出演。2010年にはTWS主催のアンサンブルモデルンのセミナーにて特殊奏法の研鑽を積む。これまでにバイオリンを樋口育世、橋本寿子、鷺山かおり、梅原ひまり、マウロ・イウラート、室内楽を岸邊百百雄、河野文昭、神谷郁代、久合田緑、J・W・ヤーンの各氏に師事。

丸山 泰雄 | Yasuo Maruyama
(チェロ)

1987年東京芸術大学音楽学部卒業。89年第58回日本音楽コンクール第1位、増沢賞・特別賞を受賞。イタリア パオロ・ボルチアーニ国際弦楽四重奏コンクール第3位、特別賞受賞。ドイツ マルクノイキルヘン国際チェロコンクール特別賞。92年「東京国際音楽コンクール」第2位及びアサヒビール賞を受賞。第2回日本室内楽コンクール第1位及び特別賞受賞。92年9月より文化庁海外研修員としてベルリン芸術大学に留学、ディプロマを最高位で取得。現在、ソロを中心に室内楽、主要オーケストラの客演首席で活躍中。紀尾井シシフォニエッタ東京、トウキョウモーツァルトプレーヤーズ（首席）のメンバー。

TOKYO EXPERIMENTAL FESTIVAL —SOUND, ART & PERFORMANCE 2009年度受賞者による記念公演 上演企画・出演者プロフィール



<最優秀賞受賞>

mamoru 「etude for everyday life」

プログラム： 空間内で組み合わせる複数の音源。温かいお茶と、それを飲む行為から生まれる幾つかの etude。そして
"etude no.38 水と紙"を「聴く」ための場。これらが組み合わさって出来る一時間の音体験。

演奏曲目： etude no.13 氷
etude no.40 湯と茶
etude no.38 水と紙

日時： 2010年12月21日(火) 14:00開演
2010年12月22日(水) 16:00開演
2010年12月25日(土) 13:00開演 / 14:15開演 / 15:30開演
※各回10名予約制
※当日券の有無は必ず事前にお問い合わせください。

入場料： 2,000円
出演： mamoru

企画者プロフィール：mamoru(サウンドアーティスト)

1977年大阪生まれ。2001年ニューヨーク市立大学音楽学部卒業。自作の音具などを用いた即興的なパフォーマンスやサウンドインスタレーションなどを発表、ここ数年はプラスチックストロー、サララップ、氷の様な日用品や、飲食、売買などの日常行為を読み替え、音を得る事を通じて、とるに足らないものや事から価値創造を試みる etude シリーズを展開、ウィーン近代美術館をはじめ、オーストリア、カナダ、オランダ、アメリカ、日本など国内外の美術館、ギャラリーなどで発表し好評を得る。



<最優秀賞受賞>

アンサンブル クロス.アート 「earseyes」

プログラム： アンサンブル・クロスアートが、3人の映像アーティスト(田口行弘、マラカ・デバブリヤ、ソニヤ・フュスティ)の映像に合わせた音楽を生演奏で行います。

アンサンブル・クロスアート(ensemble cross.art)は現代音楽のアンサンブルとして、シュトゥットガルト音楽大学の講師陣を中心に結成されました。このアンサンブルは、現代音楽と、他のメディアや芸術との融合を提供する事をコンセプトとしています。

演奏曲目： 田中吉史「Nest」(2008)
オリヴァー・フリック「Chasse au moment」(2008)
Nikolaus A Huber「clash music」(1988)ほか

日時： 2010年12月25日(土) 19:00開演(18:30開場)
入場料： 3,000円
出演： 山本純子(ピアノ)、ソンミンシム(マリンバ)、大石将紀(サクソ)、三瀬俊吾(ヴァイオリン)

企画者プロフィール：山本純子(ピアノ)

ケルン音楽大学にて、Peter Eötvös(現代音楽)に学び、アムステルダムにて Hakon Austbø、パリにて Claude Helffer に学ぶ。石川・文化庁音楽コンクールにおいて第一位、スペインの Xavier Montsalvatge コンクールにて第三位、及び最優秀スペイン近代音楽解釈賞受賞など数々の国際コンクールにて入賞。武生国際音楽祭、国際バルトク音楽祭 Szombathely やストラスブールの Le Festival Musica に招聘されている。2004年よりシュトゥットガルト音楽大学にて教鞭を取る。

TOKYO EXPERIMENTAL FESTIVAL —SOUND, ART & PERFORMANCE 2009年度受賞者による記念公演 上演企画・出演者プロフィール



<特別賞受賞>

生頼まゆみ×大久保彩子「～cimbalom, flute "Trance"～」

プログラム： ツインバロムとフルートから様々な奏法により生まれ出る Sound と、時には体から発せられる Voice、また時にはライブ・エレクトロニクスが混ざり合い、空間を音の万華鏡のように変化させながら満たしてゆく・・・。

2001年より西欧を拠点にクラシック、現代音楽界で活躍していた生頼まゆみと大久保彩子は Ensemble Accroche Note を通じ2007年に出会い、「Trance」を演奏。以来、デュオ活動を開始し、2年前より本格的に日本での演奏活動を行っている。

演奏曲目： マウリリヨ カッチャットーレ「トランス」(2006)
田中吉史 新曲委嘱作品 (2010)
高橋悠治「メアデル」(1973) 他

日時： 2010年12月21日(火) 19:00開演 (18:30開場)
入場料： 2,000円
出演： 生頼まゆみ(ツインバロム)、大久保彩子(フルート)、有馬純寿(ライブ・エレクトロニクス)

企画者プロフィール①：生頼[おうらい]まゆみ(ツインバロン)

フランス国立ストラスブール音楽院を鍵盤打楽器科、室内楽科、それぞれ首席で卒業後、最優秀でコンサート奏者資格を取得。ストラスブール市賞受賞、他入賞多数。ツインバロン・ソロ奏者として、国立ローマ・サンタ・チェチリア管弦楽団、SWRバーデンバーデン、フライブルグ交響楽団等と共演するほか、各国の現代音楽祭に出演。

企画者プロフィール②：大久保彩子(フルート)

アムステルダム音楽院を卒業、学位取得。2005年よりフランス・ストラスブール国立地方音楽院フルート科にてマリオ・カローリから指導を受ける。2008年同音楽院を最高位の成績で卒業。006年、現代音楽演奏コンクール「競楽 VII」第16回朝日現代音楽コンクール入選。現在までに、フルートを大久保功治、小泉浩、高橋真知子、アビ・デクワンツの各氏に師事。



<特別賞受賞>

トマツタカヒロ「WHITE CUBE GYMNASIUM GRACEFUL SURVIVAL」

プログラム： 精神疾患と格闘技に関わる極私的的日常に共通するのは恐怖。それに耐える肉体により音楽を奏でる試み。WHITE CUBE空間をGYMに見立て格闘練習ツールを楽器とし恐怖と笑いの狭間に全身全霊に汗を流す

演奏曲目： 日本国歌「君が代」

日時： 2010年12月22日(水) 19:00開演 (18:30開場)
入場料： 800円
出演： トマツタカヒロ(企画・演出・出演)、金井史明(格闘)、宇治野宗輝(テクニカルアドバイザー)、中川敏光(音響)

企画者プロフィール：トマツタカヒロ(格闘家、パフォーマー)

東京生まれ・明治大学文学部中退。ヨコハマトリエンナーレ2005(川俣正 総合監督)芹沢高志チームにて出品。村上隆「GEISAI #9」企画ブース招待出品。ジョン・ゾーン COBRA 東京作戦/身体声帯表現者限定部隊。編みぐるみ変体パフォーマンス ART ユニット「パニャグルミン」。青い部屋、新宿 LOFT plus one、NAKED LOFT、池袋 ROSA ほか、たけしの誰でもピカソ多数出演。お笑い芸人と美術展(水道橋博士、大川総裁、江頭2:50、松本ハウス、ハチミツ二郎、鳥肌実ほか)。SONY ART ARTIST AUDITION 展・高城剛 X-TV パフォーマンスライブ・PARCO URBANART ALTERNATIVE 展・上野不忍池オブジェ展(故池田満寿夫 総合監督)。キックボクシングとフルコン空手の試合数々・メンタルクリニックデイケアにて ART と軽運動プログラム講師 12年以上勤務中。トーキョーワンダーサイトレジデンスプログラム海外招聘音楽家たちとコラボレーションパフォーマンス。ART と並行しながら、油絵、平面、立体作品など創作中。